

医動物・食品中異物検査結果(平成30年度)

医動物担当では、人の健康を害する、または不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受けて、昆虫類を中心に食品へ混入した異物の検査を行っています。平成30年度の食品中異物検査実績は2件でした。内訳は昆虫類1件(コウチュウ目)、その他の節足動物類1件(ダニ目1件)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
給食のミックスフルーツ(3種類のフルーツ缶詰を合わせたもの)に虫が混入していた。 (2月)		アナナスケシキスイ (コウチュウ目)	吸湿して劣化した穀類や樹液、熟した果実に集まる。変質した果実や乾燥果実からも発見されている。日本を含むアジア、アフリカ、北アメリカ等に分布する。
開封済の小麦粉に生きたダニが多数みられる。 (4月)	 雌 白色半透明、0.32~0.41mm  雄 白色半透明、0.25~0.33mm	コナヒョウヒダニ (ダニ目)	室内塵中に普通にみられる。特に畳、絨毯を敷いた屋内に多く発生するとされている。また本種は、配合飼料、食品、医薬品などから発見されている。食性は、塵の中のダニの死骸、破片、人のフケなどである。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】